

令和7年度 学校経営方針「熱意・誠意・創意」

和田小学校長 立花真輝

【はじめに】

令和7年度を迎えました。開校から31年目。今日から新しいチームでの第一歩を踏み出します。歴任教職員の努力や、保護者・地域の方々のご協力のお陰で、和田小の伝統は築かれてきました。今後も続く和田小の歴史の1年を、私たちは担うこととなります。これまで培われてきた伝統を大切にしつつ、社会が子どもたちに求めている力を育成していくために、**教職員・保護者・地域の、知恵と力を結集し、新しい和田小の歴史を、新しいチームでつくっていきましょう。** 「初心、忘れるべからず」

学校の重要な役割は子どもたちに「学力」をつけることです。それは、子どもたちの幸せな人生のために、必要不可欠なものだからです。知識・技能の習得、思考力・判断力・表現力の伸長を目指すことはもちろん、それらを支える学ぶ意欲や挑戦する心、人と協働できる力など、これからの人生を、子どもたちが幸せに生きていくために必要な「学力」を、チームでつけていきましょう。

和田小では、校内での研究・研修を重ね、意図的・計画的に子どもたちの「学力」を高める取組を続けてきました。令和7年度は所沢市教育委員会「トころん学力向上プロジェクト」の研究2年目となります。これまでの取組と学びで得た知見を土台としながら、「認知能力の向上」「非認知能力の育成」「言語活動の充実」を目指し、**全ての教育活動を通して子どもたちの「未来を切り拓く力」を、チームで育成していきましょう。**

【学校教育目標】

心豊かでたくましい児童の育成

- ・すすんで学ぶ子（確かな学力） 《知 育》
- ・助け合う子 （豊かな人間性） 《徳 育》
- ・たくましい子 （健康・体力） 《体 育》

【めざす学校像】

「明日も来たくなる ぬくもりのある 和田小
～ 子どもが幸せになれる学校づくり ～」

【経営方針】

（全体） 「認め、寄り添う教育」の推進

- （1）教職員・子どもが、安全に、安心して生活できる学校の環境を整える。
- （2）実態を把握し、子どもの視点に立った授業を展開し、学力向上を図る。
- （3）子どもの心に寄り添う温かな言葉かけを通して、豊かな心を育む。
- （4）自分の命と身体を大切にし、体力向上を進んで行う子どもを育てる。
- （5）保護者や地域の思いや願いを大切にし、「共育体制」を推進する。
- （6）魅力ある授業実践や研修等により、教職員の資質向上を図る。

【経営の重点】

（1）**教職員がやりがいを持ち、子どもが安心して生活できる環境の整備**

- ・やりがいを持ち、言いたいことが言える、風通しのよい職場環境づくり
- ・適正な勤務時間と健康の維持管理、持続可能な働き方となる改革の推進
- ・子どもが安全に過ごせる施設の維持、安心して生活できる居場所づくり

（2）**思考を深める授業の充実 《学力向上》**

- ・所沢市教育委員会「トころん学力向上プロジェクト」の推進

- ・認知能力の向上、非認知能力の育成、言語活動の充実
- ・基礎基本の定着、授業展開の基本型の定着
- ・E S D（持続可能な開発のための教育）の視点に立った教育の推進
- ・全国、埼玉県学力学習状況調査の活用

（３）豊かな心と人間関係の育成 《規律ある態度》

- ・集団生活の約束を徹底し、互いに認め合える関係を築く学級経営
- ・道徳の授業と日々の生活を通じた道徳教育の推進
- ・よりよい人間関係の構築を目指す学級活動の推進
- ・人間関係を広げ、思いやりの心を育てる児童会活動の推進
- ・食習慣を育てる給食指導、心を育てる清掃活動の推進
- ・学びに向かう力の基盤となる体験学習の推進
- ・子どもに関する情報の共有、共通認識、共通行動による指導体制

（４）たくましい身体の育成 《体力向上》

- ・十分な運動量を確保した体育授業の充実
- ・アウトドアデイ（月・水・金）を中心とした外遊びの励行
- ・すこやかデイ（月１回）による心と体の学び
- ・サーキットトレーニングの推進

（５）保護者・地域との「共育体制」の推進

- ・学校応援団によるボランティア活動、地域等のゲストティチャー招聘
- ・民生児童委員等の外部組織・機関と連携した生徒指導・教育相談
- ・学校運営協議会（コミュニティスクール）と連携した学校運営
- ・地域行事への教職員の参加

児童の見守り、スクールガーデナー、スクールデコ、引率サポート、家庭科サポート 等

（６）教職員の資質向上の取組

- ・授業を中核に据え、互いに高め合える、主体的な校内研究の推進
- ・校外の研修会への参加の推奨
- ・教職員事故防止に向けた取組（研修、倫理確立委員会）

【むすびに】

多様性の考え方が社会に浸透する中、子どもの教育や保護者・地域との関係、さらには教職員の働き方についても、学校は未来を見据え、持続可能な形を築いていく必要があります。学校運営協議会（コミュニティスクール）が始まり、保護者・地域の学校運営への参画意識の高まりが期待されます。

子どもたちの成長は順調だけでなく、時にはつまずき、後戻りすることすらあります。そんな子どもたちを認め、寄り添い、進むべき道を示すことは、私たちの使命と言えます。学校に説明責任を求められる現代において、丁寧な対応も大切ですが、明るく元気に、生き生きと活動する子どもの姿こそ、信頼される最も大切な説明材料であると言えます。

そんな、子どもたちを育成するためには、まずは私たち自身が、明るく、はつらつと子どもに向き合う必要があります。そのためにも、ご自身、そしてご家族の生活を大切にしてください。

社会は、個の力と同時にチームの力を求めています。一人一人が自ら研鑽を重ねると共に、互いを認め、力を出し、補い合えるチームをつくっていく必要があります。子どもたちにとって、「明日も来たくなる めくもりのある 和田小」となるよう、そして「子どもが幸せになれる学校づくり」が実現できるよう、共に力を尽くしていきましょう。